

# 「浮世絵の「ここが気になる」美術館」（第6学年）

山口大学教育学部附属山口小学校 岡崎 典子

## 1 実践事例

### (1) 授業の構想

#### ① 求める「学びを実感する子どもの姿」

浮世絵の「気になる」部分を伝えるために仲間と共に様々な表し方を試したり、互いの作品を見合ったりすることとおして、浮世絵のよさや美しさを感じ取っている子ども

#### ② 学びを実感する子どもの姿を導くための支援

**ア** ワークシートに印刷された浮世絵の写真の「気になる」部分に書き込みをするように促す。そうすることで、どの部分の何が気になったか、自分が感じる「気になる」視点を明確にできるようにする。

**イ** 子どもたち一人ひとりの視点から感じたことを交流する場を設定する。その上で、子どもたちの発言をもとに、「線の重なり」「ものの重なり」「色の変化」など、浮世絵を表し方の特徴で類別して板書する。そうすることで、伝えたい浮世絵のよさや美しさを造形的な特徴とつなげて捉えることができるようにする。

**ウ** 自分が選んだ浮世絵の「気になる」部分を表す際に、児童が前学年までに使ったことのある材料や用具を準備しておく。そうすることで、これまでの経験を生かし、試しながら製作活動を行えるようにし、伝えたい浮世絵のよさや美しさを自分なりに表現できるようにする。

**エ** 第2次では、表し方で困っていることややってみたいことを交流する時間を設定する。そうすることで、仲間の表し方にふれ、自分の表し方を見直し、表したいことに合った形や色について見通しをもつことができるようにする。

#### ③ 目標

○ 浮世絵を鑑賞し、「気になる」部分を材料や用具を使って表しながら伝え合うことをとおして、浮世絵の表現意図や特徴についてとらえ、よさや美しさを感じ取ることができるようにする。

○ 仲間と、浮世絵や「気になる」部分を表した作品を鑑賞したことを交流する中で、浮世絵を見ることの楽しさを味わおうとすることができるようにする。

## (2) 子どもの学びの実際

※下線は前述の支援との対応を表す

### ① 浮世絵の「気になる」部分について話し合う [第1次の学び]

第1時では、葛飾北斎や歌川広重の5枚の浮世絵の図版を鑑賞した。子どもたちは、浮世絵の作品それぞれの全体の印象よりも、「波の繊細なところまでかかっている」などと浮世絵の細部に注目していた。そこで、ワークシートの浮世絵の「気になる」部分に書き込みをするよう促した。

【支援ア】子どもたちは、「気になる」部分を囲んだり、「波の先の形が詰めみたい」などと感じたことを言葉で表したりしていた。その後、鑑賞したことをもとに、子どもたち一人ひとりが感じたことを交流する場を設け、子どもたちの発言を、「色の変化」「重なり」など浮世絵の表し方の特徴をもとに類別して板書した。【支援イ】そうして、伝えたい浮世絵のよさや美しさを造形的な特徴とつなげてとらえることができるようにしていった。

このような活動をしたり、教師による参考作品（雨の線の重なりを透明シートを重ねて表したもの）にふれたりする中で、自分でも浮世絵を表してみたいという思いを子どもたちはもった。

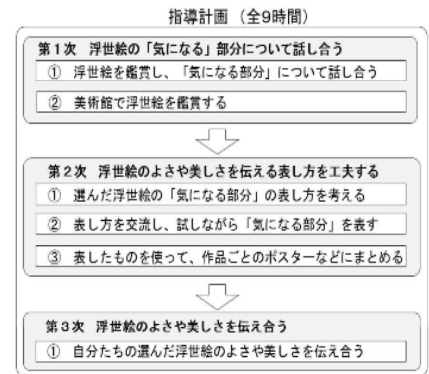
第2時では、美術館に浮世絵を見に行った。子どもたちは、第1時で鑑賞した視点（「色の変化」、「重なり」など）をもとに、興味深く浮世絵の作品を見つめて言葉を交わしていた。本物の浮世絵を

見ることで、浮世絵の色の美しさや形の細やかさなど、「気になる」部分に着目し、自分たちも表してみたいという意欲が高まった。

### ② 浮世絵のよさや美しさを伝える表し方を工夫する [第2次の学び]

第1時では、鑑賞したことをもとに、「背景の空の色の変化を水彩絵の具で表してみたい」というように、「何をどう表すか」ということを考える時間を設けた。一人ひとり、浮世絵の「気になる」部分に印をつけ、その部分を拡大した写真をワークシートに貼る。そして、「なぜ気になるのか」を書き、それを表すための材料や用具を考えるのである。色紙、和紙、コンテパステル、刷毛など、子どもたちが今まで使ったことのある材料や用具を準備した。

【支援ウ】子どもたちは、これまでの経験を生かして、材料や用具を選び、表し方の効果を試していた。第1時の最後に、表し方で困っていることや次にやってみたいことを考える時



「気になる」部分の書き込み



第1次第1時の板書

間を設けた。【支援エ】「波のしぶきを白いペンでかいたけど、大きすぎるな」と浮世絵と見比べて自分が表したものに納得のいかなかったI児は、「もっとしぶきを細かく表してみたい」と、自分の表現を見直していた。

第2時以降は、子どもたちの表したいことをもとにグループを作り、表し方について見合ったり伝え合ったりしながら取り組めるようにした。「東海道五拾三次之内庄野白雨」（歌川広重）の、風雨でなびいている木の形と濃淡のある色に注目したグループでは、紙に何度も試しながら色の濃さを調節して2色のグレーを作り出し、本物の色に近付けていた。以下は、子どもたちのやりとりの様子である。



ワークシート

Y児（皿に墨汁を入れて水で薄めている）

「ちょっと黒が濃いな。」（傍らにはワークシートに貼った浮世絵を置いている）

T児「（浮世絵と見比べて）ちょっと近いんだけどね。」

Y児（墨汁に半紙をひたす）

T児「筆でつけた方がいいんじゃない。」

Y児「そうかあ。」（筆で墨を半紙にぬる）

T児は、仲間の表そうとしているものと浮世絵を見比べてアドバイスをすることで、あらためて浮世絵の色の濃淡に気付いていた。また、以下はY児のふりかえりである。

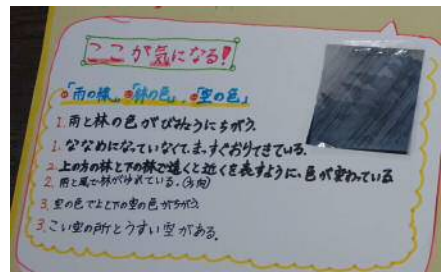
今日、実際にやってみると、なかなか上手く色を表すことができなかったのですが、どうすればいいのかなと思いました。でも、Tさんに色の濃さをアドバイスをしてもらったので、よかったです。（Y児）

このように、T児とのかかわりによって、選んだ浮世絵の「気になる」部分に近付けようと自らの表し方を見つめ直しているY児の姿が見られた。その他のグループでも、色の段階的な変化や形の細やかさについて、どう表したらよいかアドバイスをもらって、色をぬり重ねた子どもや割り箸の先を使って細かく点をうつ子どもの姿が見られた。仲間と共に、材料や用具とかかわり、試しながら、感覚を働かせて考えることで、構想を深めていくことができたのである。



仲間の表し方を見つめる子ども

第2次の最後には、一人ひとり、浮世絵の「気になる」部分に近付けた作品を画用紙に貼り、「気になる」ことを言葉で書き表す活動を行った。波しぶきの細かさに着目していたI児は、「しぶきがかなり細かかったので、絵の具を散らして表現したら、勢いが感じられた」というように製作をとおして、「気になる」部分をさらに見つめ、感じ方や見方を深めていた。



製作をとおして感じ方や見方を深める

### ③ 浮世絵のよさや美しさを伝え合う[第3次の学び]

第3次では、「美術館に見学に行った際にももらった展覧会ポスターのようにまとめてみたい」という思いから、自分たちが選んだ浮世絵について大判用紙1枚のポスターにまとめていった。同じ浮世絵を選んだ子どもたち同士でポスターにまとめていく中で、製作をとおして感じたことを交流していた。そして、ポスターを学級で見合い、他の浮世絵にも、色の段階的な変化や形の細やかさなどの共通した表現意図や特徴があることにも気付くことができた。



浮世絵の「ここが気になる」ポスター

第3次の最後に、これまでの学習をとおしての振り返りを行った。以下のY児の振り返りからは、「気になる」部分を表していく中で、自分の見方を深め、作者の表現意図をとらえていることが伺える。

火山のように山を赤くした。上は黒っぽい赤にした。空は、山を目立たせるために、明るい色の水色にした。たぶん作者もそう考えていたと思う。(Y児)

また、以下のF児やI児のように、仲間の感じ方や見方にふれたことで、作品を見ることに対する自分自身の感じ方や見方が変わったことに気付いた子どももいた。

ポスターを班のみんなで作って見て、気になるところは同じでも、理由はみんなちがっていて、一つの作品でいろいろなことを感じられたので、浮世絵はすごいなと思いました。(F児)

最初に浮世絵を見た時に、「何だろう、これ」と思ったところを、みんなでよく見れば見るほど分かっていくのがよかったなと思いました。(I児)

## 2 実践を振り返って

様々な表し方を試したり仲間と浮世絵や「気になる」部分を表したものを見合ったりすることで、浮世絵のよさや美しさを感じ取っている子どもの姿が見られた。これは今回、製作活動を取り入れた能動的な鑑賞の学習を仕組んだことのよさであると考えられる。しかしながら、表し方が多種多様になったことにより、子どもたち自身で表し方の共通点を見付けられず、表す過程での仲間とのかかわりが難しいようであった。

右はK児の作品である。K児は、海の薄い青色と濃い青色の部分をそれぞれ透明なシートに写しとって重ね、見え方の効果を試しながら色を重ねることのよさを味わっていた。「透明シートを重ねて表してみる」といった共通の表し方をもとに、そのよさを全体で共有できれば、仲間とのかかわりが生まれ、そこから発想を広げたり構想を深めたりすることができるのではないかと考える。



2枚の透明シートを重ねる

今後は、子どもたちがかかわり合う必然性が生まれるような場の設定も含め、仲間とのかかわりの中で発想の広がりや構想の深まりを促す支援の具体を考えていきたい。